

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業  
**実施報告書【学校課題実践校用】**

学校番号	34
学校名	富山県立砺波工業高等学校

学校の現状と課題	社会に貢献する工業人として自立し、地域の様々な分野においてしっかり根を張る人間を育て、基礎学力とコミュニケーション力を重視した文武両道を目指している。そうした中、工業高校生としてもものづくりを通じて「地域との交流活動の実施」をテーマに取り組み、将来は地域社会に貢献できる実践的な能力やたくましさ身に付けた人材の育成が必要である。	
テーマ(特色)	ものづくり教育を生かして、地域にかかわるイベントやボランティア活動に参加し、ものづくりの技術力や自立心・責任感等の人間性、地域とのつながりと関わりを尊重できる力を育むとともに、地域の担い手としての資質を養う。	
設定した「テーマ」の達成状況	1 日頃から学んでいるものづくりの知識や技術をもとに、自らのアイデアをメンバーと協力して形にしていく過程を通して、協働して物事に取り組む姿勢や課題解決能力の育成を図った。 2 ものづくりを通じた地域との交流やイベントへの参加により、技術力、自立心・責任感等の人間性、地域とのつながりと関わりを尊重できる力を育むとともに、地域の担い手としての資質を向上させることができた。	
実施内容 (具体的に記入する)	1 「出町児童センター祭り」での児童との交流 生徒が製作したアプリ(デジタル水族館)を用いて、子供たちが描いた絵を水族館に見立てたディスプレイ上で泳がせる企画や生徒が製作したラジコンカーの操縦体験を通して、地域の子供たちとの交流を図った。 2 おもちゃの病院 地域イベントに合わせて壊れたおもちゃを持ち寄ってもらい、無償修理を行った。修理の様子などを子供たちに見てもらおうなどの交流を行った。(3か所実施) 3 「なんとキッズライツDAY」への出展 生徒が製作した作品の展示・実演を通して、地域の方との交流を図った。 4 チューリップ公園KIRAKIRAミッション 地域貢献活動として、KIRAKIRAミッションに参加し、生徒がメンバーとアイデアを出し合いながらテーマにあった募金箱を製作した。会場では作品が展示され募金箱として実際に使用された。 5 「高校生ものづくり応援フェス」への参加 地域の企業と協力して、日頃の学習成果を地域の方へPRした。	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	1 地域のイベントに参加することで、日頃から学んできたものづくりの知識や技術を活かして、子供たちと交流することができた。相手に分かりやすく説明したり、自分の考えを相手に伝えたりすることで、コミュニケーション力を鍛えることができた。 2 おもちゃの修理をする活動を通して、日頃から学んできた専門の知識や技術をより深めることができた。 3 KIRAKIRAミッションでの貯金箱の製作では、メンバーと協力しながら、課題解決に向けて取り組む一連の学習活動を通して、課題解決に向けた取り組み方や、協働して課題に取り組む姿勢、粘り強く物事に取り組む姿勢など、技術者として必要な資質・能力を向上させることができた。	
対象者(学年・人数など)	機械科、電気科、電子科生徒 1～3年 387名	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	「出町児童センター祭り」での児童との交流
	9月	砺波市SDGsフェス「おもちゃの病院」、砺波市社会福祉協議会「おもちゃの病院」
	10月	
	11月	「なんとキッズライツDAY」への出展
	12月	福野児童館 アルカス「おもちゃの病院」での児童との交流、チューリップ公園KIRAKIRAミッション募金箱の製作・展示
	1月	高校生ものづくり応援フェスへの出展と児童との交流
2月		
3月		